



<p>座 長</p> <p>障がい福祉係長</p>	<p>す。</p> <p>本日の会議には、構成員14名のうち13名の方に出席をいただいております。</p> <p>なお、ひまわり福社会の成瀬様につきましては、都合により欠席の連絡をいただいております。</p> <p>次に、会議の公開についてです。</p> <p>本会議は、個人のプライバシー等に係る部分を除き、公開することとなっております。また、傍聴も可能となっておりますので、御承知おきください。</p> <p>本日は、傍聴の方はいらっしゃいません。</p> <p>次に、本日の資料の確認をさせていただきます。</p> <p>資料は事前に送付させていただいておりますが、お持ちでしょうか。</p> <p>まず、資料の1つ目が次第、次に構成員の一覧、資料1 障がい者計画等の素案に係るパブリックコメントで出された意見及び市の考え方、資料2 第7期障がい者計画等案、参考で、第3回策定会議等で出された意見及び市の考え方、最後に、本日机上で配付をいたしましたクリップ止めの資料が本日の会議資料となります。</p> <p>それでは、時間も限られておりますので、早速議題に入らせていただきたいと思います。</p> <p>本日の終了の目安ですが、15時30分を目安に進めたいと思いますので、議事の進行に御協力ください。</p> <p>発言に当たっては、会議の進行上、会議録の作成上、恐れ入りますが、挙手の上、指名を受けてからお願いします。</p> <p>進め方といたしまして、前回の会議でいただきました御意見と11月17日に開催された、障害者地域自立支援連携会議でいただいた御意見をどのように反映させたのか、事務局から説明していただくから、議題に入っていこうと思っております。</p> <p>それでは、事務局、よろしく申し上げます。</p> <p>** 説明 **</p>
---------------------------	---

<p>座 長</p>	<p>参考資料の説明をしていただきました。</p> <p>策定会議等で出された御意見が全部で6項目あり、そのうち上から4つ目、69ページの成果目標の障がい雇用率に関しては先に行われました自立支援連携会議の本会議、その他に関しましては、策定会議の御意見を反映し修正をしたということです。</p> <p>ただいまの説明について、何か御意見ありましたら、御発言をお願いします。</p> <p>では、質問等もないようですので、次の議題に入らせていただきたいと思います。</p> <p>それでは、議題（1）パブリックコメントの結果についてに進みたいと思います。</p> <p>この件につきまして事務局から、説明をお願いします。</p>
<p>障がい福祉係長</p>	<p>** 説明 **</p>
<p>座 長</p>	<p>ただいま、資料1のパブコメの意見に関する市の考え方を市ホームページに公開を既にされているということでしたけれども、改めて説明していただきました。</p> <p>このパブコメに対する市の考え方につきまして、何か御意見等ございましたら、発言をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、山本委員。</p>
<p>山 本 委 員</p>	<p>スクールサポーターのことで、お聞きします。名古屋市のことは分かりませんが、春日井市で、支援員という形でクラスに入って、支援の必要な子のフォローをするという人がいるというのを何年か前にお聞きして、尾張旭市にも、東栄小学校にボランティアで参加しているというのを聞いたことがあるのですが、この支援員に対しては、何かこれからアクションをしていくという考えはありますか。</p>
<p>座 長</p>	<p>一般的にスクールサポーターと言われている方がどういった方なのか、そして、市内にはスクールサポートスタッフというような呼び方で配置され、様々な呼び方があることを承知はしておるんです</p>

山本委員	<p>けれども、今回の支援員というのはまた別の方ですね。</p> <p>スクールサポーターというのは、学校全体の色々なことを請け負っていると聞いています。おそらく支援員は、クラスに入って、対象児童をサポートしつつ、その他の児童にも声をかけたり、発達障がい等について、春日井市ではある程度学んだ方がクラスに入っていると聞いており、尾張旭市も東栄小には入っていると聞いていますが、そういう方が増えると担任の先生の負担もちょっと減るだろうなと思います。どうしても多動の子は席を立ったりするので、特に入学して慣れない環境にいる中、周りからの声かけで、落ち着いて過ごせる時間が増えるのならばいいなという意見です。</p>
座長	事務局、回答をお願いします。
障がい福祉係主査	<p>先ほど学校教育課に確認をしたところ、スクールサポーター、SSさん、介助員さんなど、自治体によって呼び方の名称というのは様々と伺っています。</p> <p>現状では、障がいのある、なしに関わらず、全てのお子さんに対して、サポートできるような体制をとるため、各校1名配置されていますが、実態としては、支援学級に所属している児童に対してサポーターがつかれることが多いようです。</p> <p>こちらには、各校1名と書いてありますが、学校によっては複数名で対応されていることも伺っております。</p> <p>また、今回いただいた御意見を所管課にお伝えしながら、連携していきたいと思っております。</p>
座長	<p>ありがとうございます。</p> <p>山本委員としては、この分野について今後強化してほしいという意図での御質問ですか。</p>
山本委員	最近、これから入学を控えている保護者の方とお話する機会があり、どこのクラスに行くかというのをすごく悩まれているので、そういう方がフォローに入ってくだされれば安心できるかなと思いま

	<p>したが、尾張旭市ではあまり聞いたことがなかったので、今後、そういう方が増えてくるといいなというのも込めてということです。</p>
座 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>この計画は障がい児に関する福祉計画のため、教育の分野で介助員をどう増やしていくかという点について、事務局としてはなかなか答えにくい部分かと思いますが、こういう意見があったことを担当部署にお伝えいただきたいです。</p>
障がい福祉係主査	<p>実際に、こちらの市の考え方というのは、学校教育課に報告させていただき、共有しております。</p>
座 長	<p>貴重な御意見、どうもありがとうございます。</p> <p>嘉藤委員、お願いします。</p>
嘉 藤 委 員	<p>パブリックコメントの2番目で、瀬戸市の事業所や作業所に通っている人が沢山おり、作業所、事業所を増やしてほしい。この件については、以前に私もこの会議の席で発言させていただきましたが、同様の意見がパブリックコメントに寄せられたんだと思います。</p> <p>ただ、事業所とか作業所をつくるというのは、そう容易ではないため、難しい問題だとは思いますが、この様な会議で出たということと、パブリックコメントでも同様な意見が寄せられたということは、やはり市としても重く受け止めていただいて、推進していただいたらありがたいなと思いました。</p>
座 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今回のこの計画の中に、利用者をどれぐらいの数を受け入れるようにしていこうかという数値目標があり、実績値としては達成しています。今後3年間、どのように増やしていくか数値目標が掲げられていますが、その目標値が、やはり現実としては合っていないという感覚ですか。</p>
嘉 藤 委 員	<p>数値目標のところまで、分からないですが、ニーズというか、</p>

座 長	<p>思っている声に上げられない。ただ、パブリックコメントに出てきた意見なので、重く受け止めていただきたいと思います。私からは、これを着実に実行していただきたいと思いますということです。</p> <p>今、特に就労系のA型、B型というのは、数値的には、非常に充足していると一般的には言われていますが、例えば、事業所の質が低く、選びたい事業所がないこと、または、地元で働きたいということでしょうか。</p>
嘉 藤 委 員	<p>地元の家から近いところで働きたいが、選択できる事業所が少ないということです。</p>
座 長	<p>そう思われている方が、嘉藤委員の発言にもありましたし、パブリックコメントの中にもいたという、そういう実感があるということでした。</p>
障がい福祉係主査	<p>福祉計画の102ページにもありますとおり、今後も就労に関する事業所につきましては、増加を見込んでいます。</p> <p>それに伴って、事業所もここ数年でぞくぞくと開設されているというような状況ですので、受け皿としては、今後も拡大していくのではないかと推察しています。</p> <p>ただ、先ほど、嘉藤委員もおっしゃったとおり、作業内容など、もう少し細かい部分で利用者のニーズに合った事業所が、自立支援連携会議などで深めていけると、より市民の方に還元できると思いますので、また検討させていただけたらと考えております。</p>
座 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>事務局から、こういった貴重な御意見を、ぜひ自立支援連携会議へもしっかり引き継いでいただいて、検討を継続的に進めていきたいので、声を上げる側も、積極的に連携会議にも御意見を上げていただくということをお願いしていますので、聞かせていただきました。</p> <p>それでは、資料1のパブリックコメントにつきましては、一旦、</p>

	<p>これで終了させていただきたいと思います。</p> <p>次に、議題に移らせていただきたいと思います。</p> <p>昨年の11月から長期にわたり、皆さん方には、貴重な御意見をいただきながら、策定をしてきました障がい者計画の最後の案について、今回、最後の皆さん方の御意見になりますので、それについて、事務局から説明をいただきたいと思います。</p>
<p>障害者権利条約</p>	<p>** 説明 **</p>
<p>座長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>ただいま事務局より説明がありましたが、全体を通して御意見、御質問がありましたら、よろしくお願いします。</p> <p>それでは、柴田委員、どうぞ。</p>
<p>柴田委員</p>	<p>54ページ。重点施策の3番目。</p> <p>インクルーシブ教育の充実ということで、主な取組として、医療的ケア児等に対する支援の充実とあるのですが、この主な取組のところは必ずしもインクルーシブ教育につながらないというか、イメージしにくいので、もう少し全ての子どもが共に学び合うようなイメージができるような表現に変えていただくといいかなと思いました。</p>
<p>座長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>インクルーシブ教育となると、医療的ケア児の対応は、少し関連性がイメージしづらいということですね。何か文言自体を変えていくという御意見ですか。</p>
<p>柴田委員</p>	<p>インクルーシブ教育のイメージが湧くような案がいいかなと思う。例えば、一緒に授業を受けることが難しければ、Zoomとかで、お互い自己紹介し合ったりとか、そういう交流の場、学び合うことがイメージできるようなそういうシチュエーションをつくっていただくという感じです。</p>

座	長	全ての子どもが共に学び合えるための支援の充実みたいな言い方が良いということですか。
柴田委員		その方がイメージしやすいかなと思います。
座	長	それに関しまして、他の委員も何かございましたか。
山本委員		率直な意見として、インクルーシブ教育と言われてもやっぱりぴんと来ない部分があるので、同じ場で共に学ぶとか、他の子に対してのことも入っている方が、より伝わりやすいのかなと感じました。
座	長	ありがとうございます。 66ページを見ていただくとお分かりかと思うのですが、重点施策を頭に持ってきていただいておりますので、施策3見出しが、インクルーシブ教育の充実、そして、具体的な取組の重点課題の①という形になっているため、ぱっと見ると違和感があるというところの御意見ですが。事務局どうしますか。
障がい福祉係長		方向性と取組の内容が相違しているようなところもあると思いますが、市としては、できればこのような形のままいきたいという思いはあります。
座	長	全体の統一性を考えていくと、少しバランスを欠くのではないかということかと思うんですが、主な取組は1つでないはずですのでよね。 委員の皆さんが納得されるのであれば、インクルーシブのところだけ、少しイメージが上がるようにするかということですが。
柴田委員		支援の充実の支援を、共に学び合う場の創出とか、変更してはどうですかね。
座	長	柴田委員の御提案は、学校において適切な教育が受けられるよう



<p>福祉課長</p>	<p>に、医療的ケア児に対する支援の充実というような書き方にしていた ただいくのが良いのではないかとありますが、施策、事業名を そのまま載せるのではなく、少し内容を変えた形の方が分かりやす いのではないかとということですよね。</p> <p>事務局、お願いします。</p> <p>今のところは、それぞれの施策の中で重点施策の施策事業名を上 げている形になっているので、分かりやすくするのであれば、主な 取組のところに、その内容を少し補足して書けば分かりやすくなる のかなと思います。</p> <p>もし、やるのであれば、他の部分も含めて、主な取組の書き方を 見直しする必要が出てくるのかなと思いますので、この場では、な かなか結論が出ないですけど、そういった方向性でよければ、事務 局と座長の手嶋先生とで一度協議をしてという形でもよろしいかと 思います。</p>
<p>座長</p>	<p>事務局の提案としては、54ページに多少余裕があるものですから、 全体的に主な取組を少し解説を加えるということではいかがで しょうか。</p> <p>委員の方も大変恐縮なんですけど、時間が迫っていますので、事務 局で加筆修正した内容に関しまして、私が最終チェックをさせてい ただき、極力、皆さん方の御意見に沿うような形で確認した上で、 御了解いただくということではよろしいですか。ありがとうございます。 です。</p> <p>それでは、星原委員。</p>
<p>星原委員</p>	<p>先ほど、事務局から説明をいただいた、119ページ(4)発達障 障がいの子どもに対する支援の表中の内容に関して、実施者数は 元々なかったものを追記していると理解しています。</p> <p>ここで、実績、見込み量の実施者数は全て1名になっていまし て、この妥当性についての説明がなく、本当にこれは1名のまま でいいものなのか、あるいは登録者数で人数は増えていますが、実 施者数は1名のままでいいのかとか、その辺の説明を少し丁寧にし</p>

<p>発達支援係長</p>	<p>ていただけるとありがたいなと思いますので、よろしく願います。</p> <p>まず経緯につきましては、今までは、受け手側のみの目標でしたが、今回の計画から、国や県の指針でも、受講者数、実施者数という、ペアレントトレーニングを行う側、簡単に申し上げると個人の先生のようなイメージですけど、そういった方も数値に計上するようということでしたので、このタイミングになってしまいました。</p> <p>実際に受講した方の中から、やっていただける方が一番望ましいと言われていますが、受講してすぐに実施者側の先生になれるかと言われると難しいと思います。国は受講した方が将来的には支援者に回るのが望ましいと言っていますが、具体的に数値では上げづらいため、現状この実施者は大学の先生にお願いしています。そういった事情もあり、今回の計画では1で計上させていただいているという状況でございます。</p>
<p>座長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>どこかの事業所にお願いすることではなく、先ほどの説明だと、有識者に事業の依頼を続けているという形でこの1名ということによってよろしいでしょうか。</p>
<p>星原委員</p>	<p>はい。</p>
<p>座長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>他にございますでしょうか。</p> <p>では、嘉藤委員。</p>
<p>嘉藤委員</p>	<p>69ページの就労の主な成果目標のところですが、障がい者の法定雇用率は2.3%に対し、市内企業の雇用率が令和4年度で1.61%、民間企業の平均が2.25%を切るということは、やはり数値的に見ても、ちょっと少ないと思います。</p> <p>さらに4月から2.5%、2年後に2.7%に引き上げられるた</p>

<p>座長</p>	<p>め、数値的にかなり厳しい状況です。</p> <p>雇用率が全国平均からも低いということになれば、やはり意見の裏づけになるため、計画は非常にいいことだと思いますけど、実施していただくことが結構肝要かなと思いました。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>何かアドバイスでもありましたら。</p>
<p>成田委員</p>	<p>令和5年の障害者雇用状況報告が、昨年12月22日に、厚労省から公表されまして、令和5年の雇用率、全国平均は2.33%ということで、現在の法定雇用率2.3%を超えているという状況です。</p> <p>尾張旭は、逆に、雇用率はちょっと低い状況でして、令和4年が1.61%だったんですけども、令和5年は、1.90%ということで0.29増えたという状況です。</p> <p>仮に2.7%を達成するためには、現在、尾張旭に本社のある会社からもらった雇用状況報告を基に、そういった会社の労働者数がもし変わらなかったと想定をしますと、あと48カウント、48人増えないと2.7%には到達できないという状況ですので、48人はちょっと厳しいなと思いながら計算をしておりました。</p>
<p>座長</p>	<p>数値目標が高いというところとは、愛知県の人権施策に関する人権尊重社会づくり条例が、整備され始めていますが、その中での議論を漏れ聞きますと、あまり急激な雇用率にプレッシャーをかけると、逆に障がい者御自身の働く人権なり、尊厳なりというところが守られない事態というのをかなり多くの関係者から危惧された御意見が出てきていまして、今年度の障害者総合支援法の改正の附帯決議において、障がい福祉雇用ビジネスに関しては、次回の改定においては、しっかり議論をするところまで明記されてきております。</p> <p>何が言いたいかというと、やはり目標値だけが全ての目標になってしまうと、どんな形でも障がい者を雇用すればいいのかというところとまたちょっと違うので、一人一人の人権が守られた形で、尊厳が守られた形で雇用率の数値が上がっていくということを願いたいなということで、嘉藤委員の御指摘もすごくよく伝わりました。</p>

<p>岡元委員</p>	<p>どうもありがとうございます。 他にございますでしょうか。 岡元委員ですね。</p> <p>計画案を職場で確認してきたときには、123ページの尾張旭市障害者地域自立支援連携会議という上段の辺りにある表の専門部会の表現が①、②、③ではなく、普通の文書で何か2段になっていたような気がするんですが、あえて変えたんだなと思って見ていたんですけれども、ただ、今回①は検討、②が構築、③が変更するで、文言として揃えていないのはいいのかということと、前も何か違和感を感じていたんですけれども、連携会議とその下のネットワークの図は、むしろ次のページに、計画の進行管理で、この計画を立てた後、自立支援連携会議で評価していくという、自立支援会議とは何かと言っているんですしたら、2. 計画の進行管理の後の方がこの図はいいのかなと思ったり。1. 計画の推進体制の中に入っているこの2つの会議とネットワークのイメージ図がどうもちょっと前から違和感を感じて、何かすっきりしなかったんですけれども、そこから辺のところは、もうあえてここに入れてあるのか、また、連携会議の専門部会の表現のところに変えて、またちょっと①、②、③と終わり方が違うのかというのを教えていただけたらと思います。</p>
<p>座長</p>	<p>貴重な御意見どうもありがとうございます。</p> <p>まず、123ページの上の囲みのところですね。尾張旭市障害者自立支援連携会議のところの専門部会の書き方について、文言を統一した方がいいのではないかという御指摘と、あとは前回と変更した理由を説明してほしいという御指摘については、いかがでしょうか。</p>
<p>障がい福祉係主査</p>	<p>専門部会等につきましては、今までは、課題に応じた専門部会を立ち上げていたんですが、部会の内容によっては、なかなか課題が抽出し切れない状況や、部会と言いながら実際は連絡会になってしまったりで、少しどんな目的で部会というものが位置づけられるのかを整理する必要があるんじゃないかということで、昨年度から議</p>

座長	<p>論をしてきたところです。</p> <p>文言については、統一させていただきます。</p> <p>今年度は地域課題に応じた課題解決に向けての検討というところで、4つの部会が開催されていますが、ワーキンググループ等で協議する場も設けています。そこについては、前回出ていたものと少し修正がありますので、よろしくお願いします。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>今の説明は、連携会議でこの内容については変更があったので、それを反映させているとの説明かと思います。</p> <p>あと、専門部会の文言については少し揃えておくというところは、座長が最後にチェックさせていただくということでよろしいでしょうか。</p>
岡元委員	<p>はい。</p>
座長	<p>ありがとうございます。</p> <p>あと、2つ目が、この下のイメージ図が、チェックをするという役割であれば、その後の進行管理の方が分かりやすいのではないかなという御指摘でした。</p> <p>多分、事務局からすると、推進するのは、計画を立てた後、連携会議との両輪で進んでいくというようなイメージで載せてあるのかなと私は理解していますけれども、岡元委員の御意見も踏まえて、何か事務局から、ネットワークのイメージ図をどこに置くかというようなところは、検討される方針でしょうか。</p>
障がい福祉係長	<p>推進体制の中に、ネットワークのイメージ図を入れさせていただき、あくまでも連携会議は、進行管理の評価機関の位置づけということで、事務局としては、今のまま載せていきたいと思います。</p>
座長	<p>そういうことが明確であればということですね。</p>
岡元委員	<p>そうです。</p>

<p>座長</p>	<p>分かりました。</p> <p>このままの状態を進めていくということで、よろしいですか。</p> <p>あくまでも推進体制のイメージ図というところで、図も載せていくということです。</p> <p>他の委員もよろしいでしょうか。ありがとうございます。</p> <p>また、複数の目で見えていくと、やはり少し御指摘いただいて助かったなという部分も実際にはありますので、御遠慮なさらずに、ぜひ全体を通して、御意見あればいただきたいんですが、いかがですか。</p> <p>上運天委員、どうぞ。</p>
<p>上運天委員</p>	<p>64ページの親子通園教室の充実というところで。</p> <p>私も子どもと一緒に、ピンポンパン教室に通わせていただいたんですけども、うちの子はちょっと保育園の通園は難しそうだと。ずっと思っていたんですけども、ずっとピンポンパン教室に通うという感じで、その先のつながりがあまりなかったんです。</p> <p>お友達のお母さんから、児童発達支援のRAKUDAさんもあるよということを聞いて、そこからRAKUDAさんを通じて相談支援員さんにつながったんですけど、その相談支援員さんまでにつながらないと福祉サービスにつながらなくて、福祉サービスにつながるのをもう少しスムーズにしていけるようにしてもらえたらなと思います。ここにもある親子通園教室と保育園のさらなる連携を図ります、ということなんですけれども、保育園に行けない子もいるので、そこを福祉にも何かすぐにつなげられるような案内とかがあるといいなと思いました。</p>
<p>座長</p>	<p>この文言の中で、例えば、切れ目のないというような用語をしっかりと入れてほしいというような御要望はございますか。</p>
<p>上運天委員</p>	<p>これだと、親子通園教室と保育園だけになっちゃうので、他の福祉サービスなどにも連携を図っていくとか、もう少し広いところでの連携を図ってってもらえるといいなと思いました。</p>

座長	<p>例えば、保護者の不安の軽減を図るために、相談、情報交換ができる場を提供します。また、庁内においては、親子通園教室と保育園のさらなる連携を図りますという文章の中で、もう少し連続的に、切れ目のないような形で、安心して行けるというようなところ、少し俯瞰するようなことができるならお願いしたいということでしょうか。</p>
上運天委員	<p>はい。</p>
座長	<p>よくこの分野ですと、断らない支援とか、切れ目のない支援とかそういったキーワードを使いながら、いわゆる縦割りではないような形での体制整備を進めていくという流れになりますので、そういった御意見なのかなということはよく分かりますので、どこかに切れ目のないみたいなキーワードを可能な限り入れていただくという御希望ですけどいかがでしょうか。</p>
こどもの発達センター所長	<p>ピンポンパン教室に関しては、市の運営施設のため、庁内での連携というところで、担当課が書いてあるものですから、今、言われたようなところが少し薄いのかなというところがあります。関係課に、例えば福祉課を入れた上で、庁外の事業所との連携の必要なお子さんも、今、ピンポンパン教室では、肢体不自由児の方とか、先ほども話題に出ていた医療的ケアの必要なお子さんで、なかなか保育園のサポート枠でも就園に移行するのが難しい方というのも増えてきていて、実際にピンポンパンで親子の関係はできて、次に他者の力を借りて、支援を受けていただく必要のあるお子さんに関しては、事業所についても積極的に連携を取りながら、次のステップに移行できるような支援を行ってきているので、そういった文言を少し追加することと今の担当課に連携先として福祉課を入れるというような形であれば、検討はできるかと思うので、その辺り少し膨らませた表現で、検討させていただいて、座長とも協議しながら、形づくっていきけるように変えさせてもらおうと思いますが、それでよろしいですか。</p>



座長	<p>丁寧な御回答をどうもありがとうございます。</p> <p>上運天委員は、色々緊張しながらの会議の連続だったと思いますけれども、やっぱり自分の伝えた意見が何らかの形でこういった場で反映されるということは、とても大事ななことかと思しますので、ぜひ、聞き取って検討していただければと思いますので、よろしくをお願いします。</p> <p>それでは、他にございますでしょうか。</p> <p>それでは、村田委員ですね。</p>
村田委員	<p>62ページの主な取組2番。精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムを構築のパブリックコメントなんですけれども、内容の下から2行目、精神障がいのある人の地域への移行を促進しますというところの文言なんですけど、可能であれば結構なんですけど、精神障がいのある人の希望する生活への移行を促進しますと書いていただけるとありがたいと思っています。</p>
座長	<p>国の指針等も踏まえて、文言等の付け合わせもあるかと思いますが、今の御意見について、何かあるでしょうか。</p>
障がい福祉係主査	<p>国の指針の部分もあるので、一度確認した上で、検討させていただけたらと思っております。</p>
座長	<p>ありがとうございます。</p> <p>先ほど、国の方針としては、やはり長期入院を希望されている方が多いことでの方向性なので、それを分かるように地域への移行という、いわゆる対比するような言葉を使って整理されていると思います。例えば、希望する生活という表現にしますと、入院を希望されているじゃないかみたいなどの受け取れ方になったとき、困るのではないかなと思いますが、その辺り、何か特に地域、希望するという文言への何か具体的な理由がありますか。</p>
村田委員	<p>今、提言させていただいた理由は2つございまして、1つは、医</p>



	<p>療機関の御意見として、医療機関は地域じゃないのかと、医療機関も、地域にある1つの本人を支えるファクターではないのかという意見が、色々なところで聞かれるという話と、もう一つは、今、福祉サービスで、地域移行支援という福祉サービスがあります。入院中の患者様に、入院中から関わって、退院に向けての支援を行う、安全な退院に向けて支援し、地域生活に戻っていただくための福祉サービスがあるんですけども、どうしても最近の地域移行の傾向としては、病院からグループホームへつなぐだけ。言葉は少し語弊があるかもしれませんが、そのような支援に陥っているような傾向があり、地域移行＝グループホームみたいなイメージが、福祉サービス上でも医療機関でも、ちょっとカラーとして定着しつつあるというところを危惧しています。</p> <p>本人の思いや意向はどこにあるのかというところを丁寧に聞くことこそが、地域移行支援だと考えておりますので、個々の文言として、もし、国の意向とする表現に準じた方がいいのは重々承知していますが、希望する生活への移行という言葉が入ると、そういった本筋としていいのではないかとの思いがあって、提案させていただきました。</p>
座 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>特に国の基本計画の部分もでございますので、事務局が回答しましたけれども、その辺りのすり合わせを少し検討して、医療機関も地域の1つではないのかという趣旨と地域移行支援のいわゆる達成度の良さというところから、希望という表現を少し入れた方がいいのではということ事務局にも受け止めていただいて、最終的に、国の基本計画とのすり合わせ、それがそこまで書けるかどうかというところは、私にお任せいただけますか。</p>
村 田 委 員	<p>お任せします。</p>
座 長	<p>大丈夫ですか。分かりました。</p> <p>では、事務局と相談させていただいて、最終的に、御一任いただいた形で書く、最終案でいいと了承していただきました。ありがと</p>

柴田委員	<p>うございます。</p> <p>他に少し時間が差し迫ってきましたけれども。</p> <p>それでは、柴田委員。</p> <p>117ページからですけれども。</p> <p>児童発達支援と放課後等デイサービスの令和5年度の見込みが対前年に対して、児童発達支援で大体20%減で、放課後等デイサービスが、令和5年度の見込みが令和4年度の対前年に対して、大体10%減になっているのはどうしてでしょう。</p> <p>その上で、令和6年度以降また上がっていくと、利用見込みが上がっていくということで、110ページの訪問系サービスや、112ページの日中活動系の生活介護もそうなんですけど、令和5年見込みだけ、何かどーんと下がっているイメージがあって、その後は、今までどおり右肩上がりに行きますよという数字になっているんですけど、これはどのように分析されているか、教えていただきたいです。</p>
座長	<p>見込みの根拠とその実績というところについて、説明をお願いします。</p>
障がい福祉係主査	<p>こちらにつきましては、まだ令和5年度中といったところで、令和5年の9月時点での見込み値を参考に算出していますので、令和6年3月終わった時点では、最終的なところの見込み値は恐らく変化があると思っていますが、中間地点の時点で、愛知県に報告しなければいけなかった関係で、こちらの数値となりました。</p>
座長	<p>タイムライン上、この数字が載るしかなかったということですね。</p>
柴田委員	<p>12か月じゃないということですね。分かりました。</p>
座長	<p>他にございますでしょうか。</p> <p>議題2は、以上となります。</p>

<p>糸川委員</p>	<p>それでは、議題3に移らせていただきたいと思います。</p> <p>その他としまして、全体を通して何か感想でも構いませんので、何か御発言がありましたら、お時間の許す限りですが、いかがでしょうか。</p> <p>一言どうでしょう、糸川委員。御感想か何か。</p> <p>こういう会は、初めての参加です。</p> <p>何をどう言っているのかちょっと、不安とかあるんですけど、やっぱり色々な施策をやっていただくということは、これは的確だと思うんですけど、やっぱり作業所のところとか、今回の災害のことで、避難所のこととか色々な問題があって、それを一応自由に解決できることではないと思うんですけども、やっぱりそれは少しこういう計画を少しずつでも進めていっていると言われたら、私たち当事者、家族にとって希望はちょっと持ったかなという感じはしました。</p>
<p>座長</p>	<p>御協力どうもありがとうございます。</p> <p>続きまして、大竹委員、何か一言、感想だけでも結構ですので、全体を通しまして何かありましたら。</p>
<p>大竹委員</p>	<p>実は途中で委員が変わりました関係で、初めての会議になりましたので、少し感想だけ述べさせていただきます。</p> <p>福祉施策は、以前から順番につくられていると思うんですけども、例えば、福祉事業所とか色々あって頑張ってやっていただいていると思っているんですけども、やっぱりコロナの影響があるのかなと思います。通う人もそうだし、施設もなかなか難しかった面があると思いますので、コロナは完全になくなったわけではないんですけども、今後、計画に基づいて、推進されていけばいいかなと思いました。</p>
<p>座長</p>	<p>御協力どうもありがとうございました。</p> <p>林委員、一言何かございませんか。感想だけでもいかがでしょうか。</p>

林 委 員	<p>去年も参加しましたが、これを読んでも分からないことがある。これからも皆さんと一緒に勉強していきたいなと思います。よろしくお願いします。</p>
座 長	<p>どうも御協力ありがとうございました。      それでは、県のアドバイザー竹田委員から、せっかくですので、最後お話しいただけたらと思います。</p>
竹 田 委 員	<p>ありがとうございます。      私も途中から参加させていただきまして、本当に有意義な会議だったんじゃないかなと思っています。今、6市町回っていきまして、同じように進行しているんですけども、以前の計画策定よりも激変してきているんじゃないかなと思っています。地域もそうなんですけど、やっぱり地域に即した皆様の声が入っているということで、連携会議でも、取り組ませていただければなと思いました。ありがとうございます。</p>
座 長	<p>どうも御協力ありがとうございました。      それでは、次に進ませていただきます。      今後の予定について、事務局から御説明をお願いします。</p>
障がい福祉係長	<p>本日いただきました（案）以外に、今後、計画案で御意見がございましたら、座長との協議が必要なため、2月7日の水曜日までに福祉課まで御連絡をお願いします。      この計画につきましては、まとめ次第、愛知県に計画案を送付いたしまして、意見を伺う予定をしています。      最終的に、計画が出来上がりましたら、構成員の皆様へ冊子として配布するほか、市のホームページで公表していく予定をしています。      また、誰にでも読みやすく、聞きやすくするために、概要版には、ユニボイスという音声コードを導入する予定をしています。</p>

座 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>皆さん、今の御説明に何か御質問ございますでしょうか。</p> <p>質問などないようですので、本策定会議の意見は以上とさせていただきます。ただこうかと思えます。</p> <p>最後になりますけれども、毎回、まとめ役としまして、皆様の御意見が計画の中で反映されるように、努力してきたつもりですが、何分力不足で、皆様方に御迷惑をおかけしたことが多々あったかと思えます。</p> <p>これも、最終的にここまで何とか来られましたのも皆様方の御協力のおかげだと思っております。深く感謝を申し上げたいと思えます。</p> <p>以上を持ちまして、私の役目を終わらせていただきたいと思えますが、まだ、宿題が多少残っておりますので、事務局と最終的に確認をさせていただいて、最終案ということでまとめさせていただくまで、緊張感を持っていきたいと思えます。どうも御協力ありがとうございました。</p>
福 祉 課 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>手嶋先生をはじめ、皆様に長期間にわたりまして御協力をいただき、大変ありがとうございます。</p> <p>今後は、本計画に基づきまして、障がい者施策を推進してまいりますので、今後とも皆様のお力添えをお願いします。</p> <p>以上をもちまして、第7期障がい者計画、第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画策定会議を閉会させていただきます。ありがとうございました。</p>